

大学と連携した若い世代への食育推進事業 ～朝食摂取に着目した取組～

事業実施主体:長崎県



- 長崎県では、県内の4大学と連携し、学生自らの企画・提案による食育普及啓発活動を実践しながら、学生を中心とした若い世代の食に関する興味、関心の向上を図る、「大学と連携した若い世代への食育推進事業」を実施している。
- 学生自らが、若い世代の食生活に関する課題抽出とその課題解決のための事業企画を提案。朝食レシピ集や啓発ポスターの作成、朝食に関する料理教室などを企画した。

【取組の内容】

- 大学生食育向上委員会を開催し、学生を中心とした若い世代に対する広報活動について事業企画を検討。
- 学生が朝食摂取や健全な食生活の重要性を理解できるような啓発ポスターや三角立てポップを作成し、各大学の食堂などに設置。
- 朝食を食べる習慣のない学生を対象に、朝食の必要性に関する講話や朝食メニューの料理教室を実施。
- 学園祭での朝食メニューの試食・販売
- SNSを利用した朝食レシピ集の紹介



三角立て



朝食の料理教室



学園祭での販売

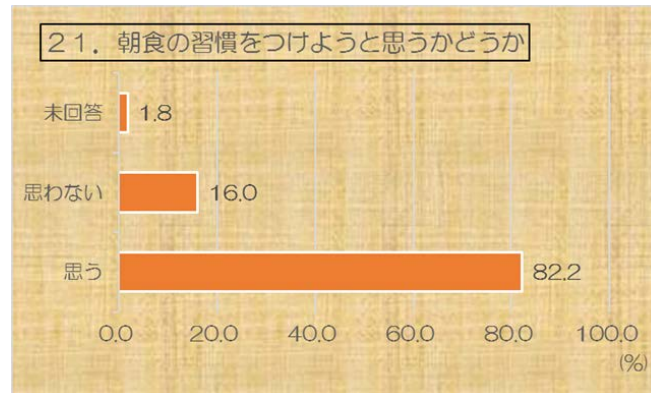


SNS掲載の朝食メニュー例

【取組の成果】

SNSには簡単な朝食のレシピを掲載しており、レシピを見た学生からは「おいしそう」「作ってみたい」という声や、料理教室に参加した学生からは「習った朝食メニューを自分でも作ってみた」などの反響があった。

学生委員からは「活動を通して、食育について深く考えるようになった」、「健康に関心が低い人を導くことや、同世代に働きかけることの難しさを知った」との声が聞かれた。今年度卒業の学生委員からは、この活動を後輩につなげていきたいとの意見もあった。



令和元年度食育アンケートの結果(県内4大学)

各大学での取組が学生の朝食に対する意識改革につながっていることがうかがわれた。